

10月の産地情報

輪菊	白菊	主な産地は愛知、静岡。高冷地産は徐々に減少。周年産地は高温期の影響を受け、秀品率の低下・出荷量の減少が予想される。
	黄・赤菊	静岡、愛知などが中心で、高冷地産も下旬頃より終盤となる。周年産地の主力品種「精の光彩」は高温の影響を受けやすい為、例年に比べ出荷量が減少する見込み。
小菊		福島中心。例年並みの出荷が見込まれるが、全体的には少な目となる。また、色バランスの崩れもあり不安定な出荷が見込まれる。
SP・ディスプレイバッド		<ul style="list-style-type: none"> ・SP:愛知、静岡、栃木、青森中心。品種が夏系から秋系に徐々に切り替わってくる。生育は今の所順調。 ・ディスプレイバッド:愛知、青森、静岡中心。愛知産は作付けが減少しており、昨年より少ない出荷になるが徐々に増加してくる見込み。
バラ		夏の猛暑の影響で、引き続き上位等級は少なめ。山形産は減少していくが、愛知、静岡、栃木産が増えてくる。
カーネーション		北海道、長野がメインだが、数量は徐々に減少。物量が減り、水曜日出荷を休む産地もあり。10月下旬より千葉、静岡など暖地の出荷が開始予定。
ガーベラ		小輪系は静岡、大輪系は長崎中心。入荷量は9月と同量の出荷が続く見込み。
かすみ草		中旬までは北海道、福島中心だが、暖地も徐々にスタート。九州方面は豪雨で植え付け遅れも一部確認されており、昨年と比較すると下旬からのスタートとなりそう。
リシアンサス		暖地の出荷が開始し、特に関東地方の出荷が増えてくる。豪雨や高温の影響により昨年に比べ少ない数量の見込みだが、暖地ものは前進傾向でまとまる予測。
ユリ	オリエンタル	新潟、北海道、埼玉中心で、新潟の平場と高知のハウス物も始まってくる。数量は例年並みの見込みだが、夏場の暑さの影響で品質低下が懸念される。白:色は6:4で、カサブランカが少な目、八重咲きがやや多めの見込み。
	スカシ・鉄砲	<ul style="list-style-type: none"> ・LAユリ:新潟、埼玉、千葉中心で、数量は例年並みの見込み。 ・テッポウユリ:長野、福島、秋田の新鉄砲百合が出荷の終盤となり、埼玉、高知、千葉より球根鉄砲ユリが始まる。数量は例年並みの見込み。
洋ラン類		<ul style="list-style-type: none"> ・オンシジューム:国産、輸入共に出荷が増える。 ・カトレア:生育が遅れていた産地が少しずつ咲き始め、数量が増える。 ・シンビジューム:ニュージーランド産は出荷終了間近の為、出荷減。 ・デンファレ:国産、輸入共に潤沢。・ファレノプシス:国産はミディ中心。輸入は大輪V3中心で潤沢な出荷。
季節もの		<ul style="list-style-type: none"> ・ピリンズ:雨も少なく生育が遅れ、花芽が少し黒くなるものも見られそう。 ・グラジオラス:雨が少なく、優品中心の出荷となる。 ・リンドウ:産地構成は9月と変わらず。中旬より出荷が落ち着く見込み。